

かしま 議会だより

第72号

平成25年3月議会号

平成25年5月1日発行

発行／鹿島市議会 編集／議会だより編集委員会

〒849-1312 佐賀県鹿島市大字納富分2643番地1 TEL63-2104 FAX63-2314



鹿島市のPRイメージキャラクター「かしまる」が誕生しました。
(3月31日・酒蔵ツーリズム酒蔵通り会場の広場で)

特集

議会改革～一般質問での映像利用の試み～
酒蔵ツーリズム2013

一般質問での映像利用の試みについて



「議場での映像の試み」

議会改革に取り組むにあたりICTプロジェクトチーム・議会運営委員会で研究してきた議場にて映像を使った一般質問を3月議会で試行しました。
PCからプロジェクターと液晶テレビを使い2名の議員に取り組んで頂きました。
今後、市執行部と議員と協議を行い引き続き研究を行います。



三月定例会

平成25年 鹿島市議会

3月定例会会期日程

1、会期

自 平成25年3月1日
至 平成25年3月25日

2、日程

【3月】

1日 開会

会議録署名議員の指名

会期の決定

議案の一括上程

(市長の提案理由説明)

2日 休会

3日 休会

4日 休会(議案研究)

発言内容通告締切

5日 議案審議

質疑、討論、採決

6日 議案審議

質疑、討論、採決

7日 調整日(議案審議)

8日 常任委員会

(議案請願)

9日 休会

10日 休会

11日 新年度予算審査特別委員会

(現地調査)

12日 新年度予算審査特別委員会

13日 新年度予算審査特別委員会

14日 新年度予算審査特別委員会

15日 新年度予算審査特別委員会

「中学校卒業式」

16日 休会

17日 休会

定例会

議案

市長提案議案等

- (1) 報告第1号 平成24年度鹿島市土地開発公社事業計画変更について
- (2) 議案第1号 平成25年度鹿島市一般会計予算について
- (3) 議案第2号 平成25年度鹿島市公共下水道事業特別会計予算について
- (4) 議案第3号 平成25年度鹿島市谷田工場団地造成分譲事業特別会計予算について
- (5) 議案第4号 平成25年度鹿島市国民健康保険特別会計予算について
- (6) 議案第5号 平成25年度鹿島市後期高齢者医療特別会計予算について

- (7) 議案第6号 平成25年度鹿島市給与管理特別会計について
- (8) 議案第7号 平成25年度鹿島市水道事業会計予算について
- (9) 議案第8号 鹿島市新型インフルエンザ等対策本部条例の制定について
- (10) 議案第9号 鹿島市都市公園に係る移動等円滑化のために必要な特定公園施設の設置基準に関する条例の制定について
- (11) 議案第10号 鹿島市道路構造の技術的基準に関する条例の制定について
- (12) 議案第11号 鹿島市道路標識の寸法に関する条例の制定について
- (13) 議案第12号 鹿島市移動等円滑化のために必要な市道の構造基準に関する条例の制定について
- (14) 議案第13号 鹿島市準用河川管理施設等の構造上の技術的基準に関する条例の制定について
- (15) 議案第14号 鹿島市市営住宅等の整備基準に関する条例の制定について
- (16) 議案第15号 鹿島市水道事業布設工事監督者及び水道技術管理者の資格等に関する条例の制定について

- (17) 議案第16号 鹿島市小規模水道条例の制定について
- (18) 議案第17号 鹿島市情報公開条例の一部を改正する条例について
- (19) 議案第18号 鹿島市特別職の職員で非常勤のもの報酬並びに費用弁償支給条例の一部を改正する条例について
- (20) 議案第19号 鹿島市議会等の求めにより出頭した者の費用弁償支給条例の一部を改正する条例について
- (21) 議案第20号 一般職の職員の退職手当に関する条例等の一部を改正する条例について
- (22) 議案第21号 鹿島市都市公園条例の一部を改正する条例について
- (23) 議案第22号 鹿島市市営住宅管理条例の一部を改正する条例について
- (24) 議案第23号 鹿島市道路占用料徴収条例及び鹿島市法定外公共物管理条例の一部を改正する条例について

- (25) 議案第24号 鹿島市下水道条例の一部を改正する条例について
- (26) 議案第25号 平成24年度鹿島市一般会計補正予算(第5号)について
- (27) 議案第26号 平成24年度鹿島市公共下水道事業特別会計補正予算(第4号)について
- (28) 議案第27号 平成24年度鹿島市国民健康保険特別会計補正予算(第2号)について
- (29) 議案第28号 平成24年度鹿島市後期高齢者医療特別会計補正予算(第2号)について
- (30) 議案第29号 平成24年度鹿島市給与管理特別会計補正予算(第1号)について
- (31) 議案第30号 平成24年度鹿島市水道事業会計補正予算(第2号)について
- (32) 議案第31号 杵藤地区広域市町村圏組合規約の変更に係る協議について
- (33) 議案第32号 専決処分事項の承認について(鹿島市固定資産評価審査委員会委員の選任)
- (34) 議案第33号 鹿島市固定資産評価審査委員会委員の選任

- (35) 諮問第1号 人権擁護委員候補者の推薦について
- (36) 諮問第2号 人権擁護委員候補者の推薦について

議員提案議案等

- (1) 議員提案第1号 鹿島市議会委員会条例の一部を改正する条例について
- (2) 議員提案第2号 鹿島市議会情報公開条例の一部を改正する条例について
- (3) 議員提案第3号 鹿島市日本酒で乾杯を推進する条例の制定について
- (4) 意見書案第1号 TPP交渉参加に反対する意見書(案)
- (5) 意見書案第2号 有明海の再生につながる諫早湾干拓潮受堤防排水門の開門調査の前倒し実施等を求める意見書(案)
- (6) 動議 鹿島ニューデール構想調査特別委員会の設置に関する動議

○…賛成 ×…反対 退…退席 欠…欠席 ※…監査委員のため審議に参加できない

次のことを審議し決定しました

【3月定例会】

議案第 1 号	平成25年度鹿島市一般会計予算について
議案第 2 号	平成25年度鹿島市公共下水道事業特別会計予算について
議案第 3 号	平成25年度鹿島市谷田工場団地造成・分譲事業特別会計予算について
議案第 4 号	平成25年度鹿島市国民健康保険特別会計予算について
議案第 5 号	平成25年度鹿島市後期高齢者医療特別会計予算について
議案第 6 号	平成25年度鹿島市給与管理特別会計予算について
議案第 7 号	平成25年度鹿島市水道事業会計予算について
議案第 8 号	鹿島市新型インフルエンザ等対策本部条例の制定について
議案第 9 号	鹿島市都市公園に係る移動等円滑化のために必要な特定公園施設の設置基準に関する条例の制定について
議案第10号	鹿島市道路構造の技術的基準に関する条例の制定について
議案第11号	鹿島市道路標識の寸法に関する条例の制定について
議案第12号	鹿島市移動等円滑化のために必要な市道の構造基準に関する条例の制定について
議案第13号	鹿島市準用河川管理施設等の構造上の技術的基準に関する条例の制定について
議案第14号	鹿島市市営住宅等の整備基準に関する条例の制定について
議案第15号	鹿島市水道事業布設工事監督者及び水道技術管理者の資格等に関する条例の制定について
議案第16号	鹿島市小規模水道条例の制定について
議案第17号	鹿島市情報公開条例の一部を改正する条例について
議案第18号	鹿島市特別職の職員で非常勤のものの報酬並びに費用弁償支給条例の一部を改正する条例について
議案第19号	鹿島市議会等の求めにより出頭した者の費用弁償支給条例の一部を改正する条例について
議案第20号	一般職の職員の退職手当に関する条例等の一部を改正する条例について
議案第21号	鹿島市都市公園条例の一部を改正する条例について
議案第22号	鹿島市営住宅管理条例の一部を改正する条例について
議案第23号	鹿島市道路占用料徴収条例及び鹿島市法定外公共物管理条例の一部を改正する条例について
議案第24号	鹿島市下水道条例の一部を改正する条例について
議案第25号	平成24年度鹿島市一般会計補正予算(第5号)について
議案第26号	平成24年度鹿島市公共下水道事業特別会計補正予算(第4号)について
議案第27号	平成24年度鹿島市国民健康保険特別会計補正予算(第2号)について
議案第28号	平成24年度鹿島市後期高齢者医療特別会計補正予算(第2号)について
議案第29号	平成24年度鹿島市給与管理特別会計補正予算(第1号)について
議案第30号	平成24年度鹿島市水道事業会計補正予算(第2号)について
議案第31号	杵藤地区広域市町村圏組合規約の変更に係る協議について
議案第32号	専決処分事項の承認について(鹿島市固定資産評価審査委員会委員の選任)
議案第33号	鹿島市固定資産評価審査委員会委員の選任について
諮問第 1 号	人権擁護委員候補者の推薦について
諮問第 2 号	人権擁護委員候補者の推薦について
議員提案第1号	鹿島市議会委員会条例の一部を改正する条例について
議員提案第2号	鹿島市議会情報公開条例の一部を改正する条例について
議員提案第3号	鹿島市日本酒で乾杯を推進する条例の制定について
意見書第1号	TPP交渉参加に反対する意見書
意見書第2号	有明海の再生につながる諫早湾干拓潮受堤防排水門の開門調査の前倒し実施等を求める意見書
動 議	鹿島ニューディール構想調査特別委員会の設置に関する動議

議案審議

議案第1号

鹿島ニューデール構想は将来に負担を残さないのか

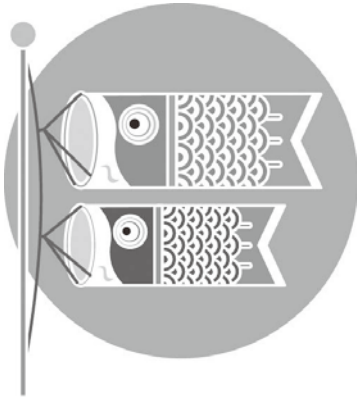


徳村 博紀 議員

質問 鹿島ニューデール構想のこれからの実施予定が出されたが、これから10年間の将来負担比率（将来にわたつての負担割合を表すものでこの比率

が高ければ財政運営上問題が生じる可能性が高くなる）がどのように推移していくのか？

答弁 将来負担比率については主要指標ではないので計算していない。実質公債比率については11・1%からいったんそれ以下になる。今後は少し増えてくると思われるが11%台で推移するものと思われる。



議案第1号

平成25年鹿島市一般会計予算について



水頭 善弘 議員

質問 新年度予算の編成について。

答弁 これまで財政基盤を強化してきて歳出を絞ってきたが、23年度になってある程度ギアを切り替えるようになったと考え、

議案第25号

一般会計補正予算について



中村 一兎 議員

質問 ピオへの公的施設移転の件を各地区団体等に説明をされているが、どういう声が入ってきているのか？また、この事業はピオという相手の事もあるもので、クリアしなければなら

ない点はどこなのか？

そこで財政支出を有効的に使うというシフトを考えながらやっていかなければと思う。コンクリート人もと。この町全体の公共的な支出を考え、それと併せて、1次産業を中心に経済力強くしていくという路線を選ぶべきではないのか。所謂出る方もアクセルを踏む代わりに入る方もみんなで頑張りながら財源を調達できるように経済力をつけていきたい。

答弁 「やっと街づくりが始まるのか」と言った声などが聞こえ始めている。また、クリアしなければなら

ない点は、鹿島市とピオで負担割合をどうするのかということ。そして、鹿島市が区分所有するので、ビル全体の何割を持つのかという点をはっきりとさせること。まだ問題が見えない部分もあるので、十分に協議して進めていきたい。

議案第1号

平成25年鹿島市一般会計予算について



福井 正 議員

質問 25年度当初予算歳入が24年度当初に、法人市民税が4千万、固定資産税の家屋分が1千9百58万5千円、土地は1千2百36万2千円減少している。煙草消費税が4千7百万円増加となっている

が、どういう要因か。

答弁 法人市民税は、法人を調査した結果増収が見込まれる。固定資産税は、アパート建築が増加。土地は評価替えの結果。煙草消費税は、タバコ販売数が現状維持であり、県からの財源移譲があるからである。

議案第1号

小・中学校舎の耐震化への取り組み状況について



角田 一美 議員

質問 校舎及び体育館等の改築・改修予算が計上され耐震化が進められているが、現在の進捗状況と今後の整備計画はどうな

っているのか。

答弁 平成24年度までの耐震構造への取り組み状況は、耐震化が必要な校舎・体育館の40棟のうち31棟が整備済で77%の耐震化率である。

残る9棟についても平成27年度末までに終了する見込みである。

議案案審議

議案第1号

平成25年度鹿島市一般会計予算について



松本末治議員

質問 祐徳門前商店街活性化事業予算が計上されてあるがシャッターが降りている店もある。商店街の下水道対策が未整備と聞く。現在、後継者グループ「参の会」も活性化に向けて

議案第1号

鹿島市活性化整備事業について



橋爪敏議員

質問 鹿島市農業のための拠点施設として、活性化施設整備事業が計画されているがその内容は。

答弁 活性化施設における取り組みは、大きく3点ある。①地域農業の再生に向けた取り組み②農商

活動中であり、「リノベーション事業」の様な型で市町村型合併浄化槽対応をし「鹿島の顔」祐徳門前商店街の再整備が考えられないのか？

答弁 祐徳稲荷神社参拝人は年間280万人と交流人口の主力である。「祐徳門前春まつり」「一店一品」運動と「参の会」活動の支援を行ない今後門前商店街の活性化へ努力する。

工連携推進に向けた取り組み③観光資源としての活用。具体的には、新たな品目の試験栽培による栽培技術の実証、農業者等の研修施設としての活用、農水業者等の二次加工の研修の場としての活用、新たな食の研究開発・販売に向けた研修、体験型観光農園方式による農産物交流、農業体験と既存観光資源と連携した観光客の誘致などである。

議案第1号

ニューデールとは



中西裕司議員

質問一 県総合庁舎の廃止に伴う統廃合の問題がある。市は存続を前提に移転を防止する為に危機管理センターの新築と同時に県の出先機関を配置する新世紀センター構想だ。設計予算の計上が

あり本格的に始動するが県との約束は十分か。

答弁 知事との協議で決定

質問二 入札制度で今年等級審査があり業者の多くが等級落ちで将来がない。積極的な工事発注を行ない政策的な配置が必要。JV発注や工事を分けるなど。

答弁 まだ全部把握していない。今後運用を検討する。

議案第1号

平成25年度鹿島市一般会計予算について



勝屋弘貞議員

質問 教育長一年目が終わったが、振り返られてどうだったのか？来年度の予算へどう反映されたのか？

答弁 まだ丸一年が終わったわけではないが、まだまだ不安というのが正直なところである。もう少ししばらく様子を見させてもらい、一生懸命勉強させて頂く。予算編成については、今年度まで緊急雇用対策として、いろいろ対応できていたものがなくなってしまうが、新しく学校生活支援員というものを、財源厳しい中ではあるが計上している。

議案第25号

学習支援員事業について



稲富雅和議員

質問 今回、日数の減で減額補正されている。国の予算で22、23、24年続いて半分ずつ減額されている中で、今回も529万の予算に対し199万減。この事業は不登校がある学生の指導、学級にうまく入れない生徒に指導し全小中に10人の緊急雇用

職員配置となっているが、減の理由は？

答弁 学習支援事業は不登校の指導ではなく学習面で遅れた子に補足するとか、学級の中に2人先生がいるのが学習支援員事業だ。ハローワークとか使いたが学校に今までかかわっていない方、子供と接するのでだれでもいいとはならない。一定のラインで審査し、応募が少なかった。

雇用したいが出来なかったので減額になった。



討論

議案第26号
反対討論

中西裕司 議員

補正予算は市民の生活の安定に必要なが基本設計費用2百万円について反対。

理由①ピオへの公的施設の移設を前提としたもの。中心市街地の再活性化策との事。市民や関係者に十分な意見聴取や事前説明がない。A案B案を提示して評価を行ない決定すべきだ。

理由②ピオの3、4階に子育て支援、高齢者福祉施設の移設はダメ。大地やみどりの中で育てるべき。他に場所はある。手法として官僚的。人として暖か味がない。理由③将来の負担が大きくなり経費増となる。不安だ。

議案第26号
反対討論

松尾征子 議員

中心商店街市街地開発構想策定業務委託料2百万円に反対。昨年6月に示された「ニューディール」構想、議会はもちろん市民の意見も全く聞かれてない。

その後、ピオ三・四階に福祉施設を入れることが発表された。公共施設を入れることにしても、福祉施設は許せない。エレベーターつけても事故があったらあつた場合脱出出来るのか。又子どもたちは地に着いたところで育てる事が大事。

ピオはこれまで中心商店の核としての役をはたしてこられた。第2次産業はじめの購買力が落ち込むなどで商店が一店・店と欠けてきた。今8名の組合員で運営されている。今又多額の金を掛けて経営を立て直すことが出来るのか。消費税の増税、物価2%値上げ等は益々購買力を

議案第1号
反対討論

松尾征子 議員

を落ち込ませることになる。市が金をつぎ込んでさらに負債を背負って行き詰まることになった責任は誰が採るのか。国の補助金や県の施設の移転を理由に事業を急ぐというが、今やること市民の意見を聞くことです。誰でも何とかしなければならぬという気持ちを持つている。市民の皆さんと意見を交わし、市民が自ら創った街になると、みんな町が可愛くなるでしょう。二百万円といえどもこれを通せば市民の意見は聞かないまま市民無視の街創りになる。今回の補正には反対をする。

自民党政権が復活して、新しい予算が明らかに。国民には負担の消費税増税物価2%値上げ、高額の住宅・自動車等への減税、安倍内閣は冒頭から、大金持ち優遇、国民はじめの政策を打ち出した。

負担増は市民の命にもかかわる問題だ。25年度予算は、10年間に70億円掛けるという「鹿島ニューディール構想推進型」の予算。市長主導で市民に押し付けられようとしている。

隅々の市民に手の届くような市政が必要。財政改革により職員の数を減らし続け、市民サービスの低下を招いている。職員の不足の分を約50%が非正規職員で許せない。共産党は国会で正規社員であるべきと訴えている。鹿島市も働く市民の暮らしを守るために職員採用は市内の手下となるべき。同じ仕事をする職員が正規非正規というのは差別だ。同和問題を言うのならここから改善すべきだ。公平・公正であるべき行財政運営。未だに改善されないのが同和事業、国においては平成14年事業は終わっている。今年も全日本同和会に二百七十万円（昨年より40万2千円減）部落解放同盟に百九十万円（昨年同額）再三の指摘にもかかわらず大会や研修会への旅

平成25年予算審査特別委員会報告

去る3月6日の本会議において、本委員会に付託された一般会計予算、公共下水道事業特別会計予算、谷田工場団地造成分譲事業特別会計予算、国民健康保険特別会計予算、後期高齢者医療特別会計予算、給与管理特別会計予算、水道事業会計予算の7議案について3月11日に議案関係5ヶ所の現地調査を行う。12月から18日までの5日間市長を初め副市長、担当部課長、担当職員の出席を求め正副議長を除く14名の議員による新年度予算審査特別委員会を開催し慎重に審査を行う。一般会計予算は総額126億4千800万円で経常的経費を極力圧縮

し第5次総合計画の重要な政策的事項の定住促進、子育て支援、交流人口の拡大等の実現や中核都市の復活をめざす「鹿島ニューディール構想推進型」の予算となっている。また各部ごとに担当部課長より予算説明資料により予算と新規事業等について説明があり質疑に入り委員より数多くの質疑応答がありました。慎重な質疑終了後討論採決の結果、平成25年度各会計新年度予算7議案は賛成多数で原案のとおり可決されました。

委員長 中西 裕司

費や負担金はいまだに丸抱え。改善へ向けて努力されている面も見えてきた。同和事業を終了させるために力尽くしてもらいた

い。25年度予算案は市民の苦しい暮らしを守るには程遠い。公平公正なものではないという立場で反対する。

一般質問

鹿島市の商業活性化の方策



福井 正 議員

質問一 鹿島シビックセンター構想と商業活性化。

鹿島シビックセンター構想は、ピオへの公共施設移転、防災センターを建設し、県総合庁舎機能、消防団本部、水道課、環境下水道課を移転し、鹿島市の防災拠点とする計画、市民会館の改修か新築の検討となっているが、これらの計画がどの様に中心市街地活性化に結び付くのか。またこれらの計画を推進するにあたって、市民への説

明や、意見交換の作業が不足している。今後意見交換をするのか。

答弁 中川地区を行政エリア、ピオへの公共施設移転は、中心市街地の賑わい創出が目的である。

市民への説明と意見交換は、積極的に行っている。現在まで要請があった団体や街づくり懇談会で意見を聞いている。

交通体系整備による活性化

質問二 長崎新幹線開業後、JR九州から経営分離され、長崎本線はディゼル列車による運行となり、特急は1日43本から10本となる。唯一の高速交通体系である長崎本線の今後の対策としてど

の様に考えているのか。
また循環バスとのりあいタクシーの運行がなされているが現状と今後の運行は。

答弁 長崎本線はまず現状認識し、準備しなければならぬ。できることなら電化での運行を要請したい。循環バスは、利用が向上しており、北鹿島や能古見地区からも運行の要請がある。利用は70%が70歳以上の高齢者、80%が女性である。

肥前鹿島駅前開発

質問三 JR肥前鹿島駅のトイレ、駅舎及び駅前の開発の実施設設計予算が25年度予算に計上されている。どのような整備を考えているのか。また駅前住民や商店街、市民の意見を聞くのか。

答弁 駅舎やトイレはユニバーサルデザインを考慮したものにしたい。また周辺住民や商店街市民の意見も聞いていきたい。

中学生の通院費を無料に



松尾 征子 議員

質問一 中学生の通院費を無料に。実現するための財源はいくら見込まれるか。

答弁 中学生の入院助成は第5次総合計画にもかかっている。財政の課題はあるが拡充に向けた検討をする。なお財源は八百万円から一千万円見込まれる。

質問二 子どもの医療費が無料になったが小学生以上は窓口で支払って後で市役所に出向いて申請をしなければならない。時間給で働く人たちは市役所に行く時間がなくせっかくの制度が利用できない。

答弁 無料制度も、県内バラバラ、県内同一歩調を取らなければ実現は難しい。

しい。

質問三 今年に入ってから市内で高齢者の孤独死が発生している。西峰団地等密集した住宅地でも個々の安全を確認することは困難である。仕事とは言っても民生委員に大きな負担を掛けている、日頃確認できるような体制をとる必要がある。

答弁 一人暮らしの世帯が千人を超えた。社協などとも協議をしながら、緊急通報や会食会をはじめ取り組みをしている。今

日西峰団地は78世帯中高齢者世帯49、单身世帯41の状態、どのようにするか話し合いを進めている。5人組をつくりお互いに見合うこと等、いろんなやり方の模索をしている。

質問四 国保税は、理屈抜きに引き下げが必要、所得の低い階層に滞納が多い。市長は、市民の生活の実態を直接見るべ

き。市民が何を望んでいるのか。市民は生活の負担を少しでも減らしてほしいと願っている。一般会計から繰り入れて税を引き下げる。ニューデールに70億円使うならそのうちの一部で引き下げをするべき。

答弁 「ニューデール」に70億円と言われるが余っている金を使うのではない。後世に負担をしてもらうことになる。最終的に一本化を訴えている。



一般質問

商業施設・ピオでの公的施設の再配備計画について



角田 一美 議員

質問一 計画について市民団体等から反対の声が上がっている。説明会を開催しピオへの移転再配置の必要性等正しい情報を告知し、計画内容を理解して頂く必要があるのではないのか。

① 築後30年経過した建物の改造費及び3・4階部分の取得費が多額過ぎるのではないのか。② 公的施設の再配置で中心市街地が活性化できるのか。③ 幼児や高齢者が利用する施設を3・4階の高層に大丈夫か。

答弁 これまで中心市街地の活性化計画は策定されているが手付かず状態で放置されてきた。総合庁舎の耐震化計画が平成

28年4月を目標に発表され、移転問題が急浮上。

市外へ転出されないよう知事に直接要請し事務的な調整をしてきた。「空き店舗等の活用で中心市街地の活性化には協力したい。」「総合庁舎に新しい投資は考えられない。」とのことで時期が限定され時間が限られてはいるが地区別に説明会を開催する等して計画案への理解を得たい。

① 新築では、坪当たり100万円、130万円要するのに対し改造費は坪42万円程度と安上がり。詳細はこれから精査し詰めていく。

② 交流施設を活用し商店街とイベント開催する等まちなかの交流人口を増して活性化を図りたい。

③ ある程度投資してでも安心・安全面は確保し、利用者の利便性の確保に配慮していく。

蟻尾山公園市民の森の有効活用について

質問二 蟻尾山の南斜面

一帯に四季を通して楽しむことが出来る市民の森が整備されているが、散歩道路が整備されていないため、有効活用されていない。市民の森入り口から山頂まで、桜広場・中腹展望台から市民の森方面へ周遊できる散歩道路の整備が必要ではないのか。

答弁 平成10年度に若殿分区から市が買収し、さが緑の基金事業を活用し約二千本植栽。昆虫採取、野鳥観察等楽しめる。中腹までは市有地であるが、頂上付近は民有地であり、今後調査し対応できるのか検討したい。

鹿島二ニューデール政策の真価を問う



中西 裕司 議員

質問一 本日古枝小卒業式に出席。橋口校長の夢を実現する為に設計図を描く事や一瞬一生、今を全力で生きる事の式辞。

京都府宇治市の議長は鹿島の子供はあいさつがしっかりとの事。議員研修で来鹿された時の事。

安倍政権の誕生で「3本の矢」の力強い政策の施行で地方の経済も期待できそう。

樋口市政も新しい空気を取り込む事でコンクリートも人もの視点から歴史や文化の掘り起こしやスポーツ合宿や酒蔵ツーリズム等交流人口増に努め活性化を図ると共に自論の駅前から中心市街地の再生の為今回の構想の提言である。その評価は

今後の行政手法にある。

市政運営は公正公平公開が原則。市民が主人公。市民との協働による市政運営。いつ、何を、どのくらい設計図を描く。その手前の基礎データの集め方、その活用が重要。

市民の声を聞く参考にすることが大事だ。今回政策の設計費用が予算化され特に駅前広場や駅舎等もある。専門家の意見の前に市民の若い世代の意見が参考になる。長崎本線は近い将来第3セクター化され「地域鉄道」として再出発する。自分のも

次の世代のアイデアが必要。計画の基礎データを求めた所何ら公開されない。県総合庁舎の移転やその後の対応策。ピオへの福祉会館の移転。利用者のアンケート調査や中心市街地の今の計画や意見の集約等。移転するにもピオありきで他の検討もない。どうして。

答弁 関係者も考えて資料の提供を考えた。

質問二 子育て支援の充実実は市のイメージを夢のある町と変える。特に病後児保育事業は大切だ。他の町に委託されている。安心が必要。市内に設置を。

答弁 市内病院に検討をお願いしたが断られた事がある。



未来の社会を作る礎になる子供たち に対する教育制度について



竹下 勇 議員

質問一 平成14年学校週5週制が完全実施されてから約11年になるが、学校週5日制の導入目的と良かった点問題点について、お尋ねします。

答弁 目的は、自然体験や社会体験や文化スポーツ活動を主体的に行う時間が増えることで、心豊かな子供を育てることにあった。ゆとり授業や地域行事への参加、親子で過ごす時間の増加等が充実してきた反面、主体的に行動できる子供と、することなくテレビやゲームで過ごす子供と両極端になり学力が落ちてきた。

質問二の一 今、文部科学省では、学校週6日制

について検討されているが、鹿島市教育委員会として、どのように検討されているか？また、国の検討状況や取組み状況はどうか。

答弁 鹿島市では、本格的な検討はまだ始まっていないが、新学習指導要領では授業時間数が増え、これまで時間割では厳しい面もある。平成23年度東京都で小学校43%、中学校47%、県内では9校が実施（年間10日以上）

質問二の二 学校週6日制の波は加速すると思うが、鹿島市の検討はいつから始まるのか。

答弁 平成25年度は、先生方、保護者、社会教育団体等から意見を聞きたい。

質問二の三 学校週6日制について、各自治体で判断できるのか。

答弁 法的に整備されたいら、実施せざるを得ない



ことになる。

質問三 学校と地域の連携を目指して全国でコミュニティスクールが取り組まれ、鹿島市でも明倫小が指定されているが、取組みはどうなっているか。

答弁 平成24年度から3年間明倫小を指定し地域人材の活用や地域への情報発信を行っているが、その成果を見て明倫小の継続や市内の小中学校の指定について検討する。

防災・減災・インフラ整備



水頭 善弘 議員

質問一 国の平成24年度補正予算と平成25年度予算は公明党が主張した「防災・減災ニューディール」の考え方が反映され、大規模災害から国民の命を守る視線に立ち、道路や橋、下水道などのインフラの総点検や老朽化対策に予算を確保しており、当市にどう反映しているのか。

答弁 防災・安全対策交付金は、老朽化したインフラの長寿命化、防災・災害避難訓練実施などで、24年度補正予算で6400万円を計上（繰り越し）、25年度1億2千万円、道路の舗装、補修が4路線、改良事業1路線、橋梁の長寿命化の実施設計に1千百万円を計

上している。

環境行政 水環境

質問二 厳しい財政状況であり予算の効果的使用という観点からも市町村設置型の合併浄化槽への見直しは当然と言わざるをえません。実施主体は市町村で補助対象は合併処理浄化槽の設置に要する費用全体で国庫補助が費用全体の3分の1と下水道事業債が30分の17、設置者は費用全体の10分の1という事業である。この事業については。

答弁 どういう手法がいいのか、市町村設置型を頭に置きながら、市町村設置型に似たような事業をするとしたら、PFIでいいものか下水道事業の見直しの中で検討していきたい。

ワクチン（高齢者を対象とした成人用肺炎球菌ワクチン）

質問三 高齢者の肺炎球

菌ワクチン接種の助成は健康増進と、医療費の削減という、大きな効果として結果が出ており、当市しとして助成制度に向けての取り組みは。

答弁 どういった形で助成できるか今後検討したい。

ピロリ検査

質問 胃がんを引き起こすとされる細菌「ヘリコバクター・ピロリ（ピロリ菌）」が原因の慢性胃炎の除菌治療に健康保険が適用された。公明党の粘り強い主張が実ったもので胃炎段階から除菌することで胃がん予防につながるという期待は大きい。そこで、このピロリ菌検査を健康診断に取り入れては。

答弁 有用性は認識しているので今後検討していきたい。

一般質問

商業施設ピオでの公的施設の再配備計画について



勝屋 弘貞 議員

質問一 「ニューデール構想」の大義大道、構想を成功させるといった市長の熱き想いは？

答弁 市民憲章実現のため、いくつかの計画が立てられてきたが、かなりの部分で達成されずに残っている。今まで支出を抑制し、財政基盤強化に努めてきた。国・県・近隣市町との戦略的互恵関係を回復し、許される範囲での財政出動を行う。

街とは、経済活動の集まりというだけでなく、それぞれの生活者の集まりでもあり、日々の活動の基礎となっているもの。集合体というだけではなく、まとまった意志を持った活動体であれ

ば、様々な面で有利になり成果が出る。

地理的だけでなく情報的感覚的にもまとまった形で機能するのがコンパクトシティと考える。

私たちの町は立ち直ることができる。ニューデールとは、新規まき直し再挑戦ということ。

質問二 国の新規事業である「リノベーション事業」を活用することとだが？

答弁 国交省に向き、計画を具体的に確認頂きアドバイスや修正案をもらった。心象はかなり良好。整備局も同様の対応である。多額の国費を頂いた分、余力ができ、他の部分に投資することができるようになる。

質問三 旭ヶ丘公園において、市民の善意で植樹している桜樹が立ち枯れをしている。管理が不十分では？また、堀の水質改善策は？

答弁 桜樹管理は業者に委託している。毎月日報を確認しているが、もう少し状況を把握できるように改善する。消毒については適切な時期に行うよう徹底する。



中村 一尨 議員

質問一 民間商業施設ピオへ公的施設である福祉会館、子育て広場、高齢者学習施設等が移転する計画について。

鹿島市がピオの改修工事費約7億円を負担し、ピオの3階と4階を2億5千万円で取得し、毎月約120万円の共益費を30年間ピオへ支払う計画が市民の意見も反映されない中に進んでいる。もう少し慎重に議論すべきではないか？また、ピオの耐震工事、空調整備等を行うための費用7億円をなぜ鹿島市が負担しなければならぬのか？例えるならば、市内約一万世帯の家庭が、一世帯あたり7万円をピオに渡す

ようなものであるが、市長の考えは？

ピオへの公的施設移転について

長の考えは？

答弁 まだ調整の部分があり、市民の負担をなるべく少なくして、動いていく。最終的に市民の考えを優先して進めていく。

質問二 ピオへの公的施設移転は子育て広場や福祉施設の利用者の生の声・要望をお聞きしてから、その結果ピオへの施設移転が決まるのは良いが、市役所が一方的に「ピオへ移転します」と民意を無視したようにして計画をすすめるのは本

当にまちづくりなのか？市長は「市民が主役だ」とおっしゃるが、本当に市民の意見を取り入れて進めていくのか？

答弁 市民の皆さんが、「もっとじっくり検討した方が良いんだ」とおっしゃるのなら、最終的に決めるのは市民の皆さんだから、意見を取り入れて進めていく。

市内の空き施設の活用について

質問三 福岡の次郎丸中学校では、教室の空き教室を利用して子育て広場を開設、昼休みには中学生がちゃんと触れ合ったりして、思春期の心の学習にも繋がっている。

白石町の夢テラスでは元の役場の空きスペースを利用して高齢者デイサービスと子育て広場を開設、子どもと高齢者がふれ合い、お年寄りの活力にも繋がっている。鹿島市でも取り入れる考えは？

答弁 すぐにできないが検討していく。



今後の一次産業の振興方向 (攻めの農・林・漁政策)



松本 末治 議員

質問一 ブランド産品（鹿島の顔）作りへの対応として、ここ3年間に鹿島市内で3年連続農林水産大臣賞受賞者があった。

柑橘有機栽培・ゆりの花栽培・米、麦、大豆、玉葱、果樹複合経営と市農業の模範とも言える経営です。

定住促進・人口の維持からも、基幹産業の振興こそ鹿島市発展です。新年度の一次産業振興について質問する。

答弁 施設栽培では、佐賀の強い園芸農業対策事業の活用、又県「プルミエ」商品の「ミカン根域制限高畝栽培」へは、50アール栽培以上経営に10

アール20万円、4年間市が補助し、面積拡大促進を図る。

海苔漁場整備に、環境・生態系保全のために浚渫排土作業による滞筋の改良対策・林業では10ヘクタールの間伐・千メートルの作業路の整備を行い森林機能の向上を図る。

質問二 交流人口と経済効果、鹿島市内の自然・景観・歴史・伝統・文化は財産。「祖先の埋蔵金」。酒蔵ツーリズムも平成22年世界ワインコンテスト

チャンピオン酒鍋島による鹿島産日本酒のブランド確立へと大きなステップとなり交流人口増と経済効果は非常に大きいと考える。現在の実態をお尋ねする。

答弁 平成20年339人で28億1713万円。一人当たり831円。平成22年323万人で24億8698万円。一人当たり

770円と客単価が安い。今後の課題である。

質問三 肥前鹿島駅は、将来特急電車の「終着駅で始発駅」。長崎新幹線開通以後も「肥前鹿島駅までは電車が走る」。対策は、交流人口の増加、中心市街地の活性化、駅ホームのバリアフリー化、エレベータ設置そして駅舎改築トイレ改修・駅前整備です。鹿島が県南西部の中核都市としての地位を取り戻す事です。

太良町・塩田町と新たな連携関係を築いて戦略的互恵関係を結ぶべきです。

答弁 鹿島駅は運命的課題です。



全国初!!

日本酒で乾杯を推進する条例を制定



鹿島市日本酒で乾杯を推進する条例をここに公布する。

平成25年3月28日

鹿島市長

鹿島市条例第20号

鹿島市日本酒で乾杯を推進する条例

(目的)

第1条 この条例は、本市の伝統産品である日本酒（以下「日本酒」という。）による乾杯の習慣を広めることにより、日本酒の普及を通じた日本文化への理解の促進に寄与することを目的とする。

(本市の役割)

第2条 本市は、日本酒の普及の促進に必要な措置を講じるよう努めるものとする。

(事業者の役割)

第3条 日本酒の生産を業として行う者は、日本酒の普及を促進するために主体的に取り組むとともに、本市及び他の事業者と相互に協力するよう努めるものとする。

(市民の協力)

第4条 市民は、本市及び事業者が行う日本酒の普及の促進に関する取り組みに協力するよう努めるものとする。

附則

この条例は、公布の日から施行する。

意見書第1号

TPP交渉参加に反対する意見書

安倍晋三首相は、オバマ米国大統領と首脳会談を行い、共同声明を発表した。共同声明の内容は、日本の農産品について、「配慮すべき品目」の存在が認識されているが、関税撤廃対象からの除外が確認されたわけではなく、TPPの特徴である「聖域なき関税撤廃」を前提にしたものとししか理解できない。

TPPは農業問題だけでなく、食の安全・安心、医療、保険、ISD（国家と投資家の間の紛争解決）条項など、国の形を変える重要な内容を含むものとして、これまで本鹿島市議会をはじめ、全国では8割を超える都道府県議会、市町村議会で反対ないし慎重な対応を求める意見書が採択される中、こうした声をないがしろにし、TPPに参加した場合の分野毎のメリット・デメリットに関する政府統一試算もなく、政府が拙速に交渉参加を判断すれば、国益を損なうことにつながる。

例外なき関税撤廃を原則とするTPPは、食料供給を海外に依存し、国土を荒廃させるものであり、国内農業や地域経済の振興とは到底両立できるものではない。

今回の日米首脳会談における協議内容は、国益の観点から、政府・与党を挙げて慎重に精査を行い、その内容を国民に開示するとともに、国民的な議論を十分に尽くすべきである。

よって、本議会はTPP交渉参加に慎重な対応を求めたところであるが、この情勢に鑑み、改めてTPP交渉参加反対の意思を表明する。

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出する。

平成25年3月13日
佐賀県鹿島市議会

意見書第2号

有明海の再生につながる諫早湾干拓潮受堤防排水門の開門調査の前倒し実施等を求める意見書

現在の有明海の状況を見ると、佐賀県のノリ養殖は、ここ数年連続して生産日本一となっているが、県内漁場、特に鹿島地先漁場では、赤潮の発生による早い時期からのノリ色落ちが続くとともに、二枚貝については、全体の漁獲量の低迷が続くなど、漁業者にとって厳しい状況が続いている。

こうした中、諫早湾干拓潮受堤防排水門の開門調査については、これまで再三にわたって本鹿島市議会をはじめ、佐賀県関係者が早期開門等を要請してきたが、政権交代後の2月2日、就任後初めて佐賀県を訪問した林農林水産大臣の見解や佐賀県等からの質問書に対する国の回答は、開門の前倒しは困難である等の内容であった。

開門期限である本年12月はノリ漁期に当たることから、この時期を避けるよう強く求めている地元関係者にとっては、極めて遺憾な状況である。

一方、開門に反対する長崎県側との協議の進展は見られない。

国には、福岡高裁の確定判決を確実に履行する義務があり、そのためには、開門に反対する長崎県側の理解を得ること等に最大限取り組まれるとともに、開門の開始時期を含め、開門実施に向けた具体的な行程表等を早急に示すことが求められている。

については、諫早湾干拓潮受堤防排水門の開門調査の前倒し実施等について下記のとおり強く要望する。

記

- 1 開門開始時期については、漁業者の間に、ノリ漁期中の開門開始がノリ養殖を始め漁業に悪い影響を及ぼすのではないかと大きな不安があることから、ノリ漁期を避けた前倒し実施について再検討すること。
- 2 開門調査に向けた長崎県側の理解を得ること等のため、長崎県側との協議に迅速かつ積極的に取り組むとともに、関係者との話し合いを踏まえて、調査実現のための具体的な対策や行程表等を早急に示すこと。

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出します。

平成25年3月25日
佐賀県鹿島市議会



酒蔵ツーリズム 2013

先客万来の大盛況

晴天に恵まれ3月30日・31日、酒蔵ツーリズム、発酵まつり、祐徳春まつりなど市内各所でイベントが開催されました。

どの会場も人・人・人の山で大盛況でした。

シャトルバスを待つ人の行列、買い物袋を両手に提げ、皆さん満足感の表情でした。



議会あれこれ

(平成25年1月～3月)

【1月】

- 8日 議会だより編集委員会
- 15日 文教厚生産業委員協議会
- 16日 農商工連携推進特別委員会
- 17日 議会だより編集委員会
- 18日 全員協議会
- 28日 全員協議会
- 29日 第206回佐賀県市議会議長会

【2月】

- 5日 全員協議会
- 8日 広域行政圏市議会協議会第44回総会
- 13日 議会運営委員会
- 14日 杵藤地区広域市町村圏組合議会事前勉強会
- 18日 全員協議会
- 19日 総務建設環境委員協議会
文教厚生産業委員協議会
全員協議会
- 20日 佐賀県後期高齢者医療広域連合議会定例会
- 26日 鹿島藤津地区衛生施設組合議会2月定例会
杵藤地区広域市町村圏組合議会2月定例会
- 27日 議会運営委員会
佐賀県西部広域環境組合議会定例会

【3月】

- 1日 平成25年3月定例会開会
全員協議会
- 5日 3月定例会議案審議(～6日まで)
- 6日 まちなか活性化特別委員協議会
- 8日 総務建設環境委員会
文教厚生産業委員会
- 11日 新年度予算審査特別委員会(現地調査)
- 12日 新年度予算審査特別委員会(～18日まで)
- 18日 3月定例会一般質問(～22日まで)
- 25日 全員協議会
3月定例会議案審議・討論・採決・閉会
- 28日 杵藤地区広域圏組合議会2月定例会閉会

行政視察受入状況

(平成25年1月～3月)

- 1月22日 岡山県笠岡市議会議会運営委員会行政視察(10人)
- 1月31日 沖縄県うるま市議会会派行政視察(4人)
- 2月 6日 山口県美祢市議会議会運営委員会行政視察(12人)
- 2月13日 新潟県燕市議会会派行政視察(3人)
- 2月14日 茨城県水戸市議会会派行政視察(2人)
- 2月27日 奈良県宇陀市議会行政視察(5人)
- 3月26日 千葉県市川市議会行政視察(3人)
- 3月27日 三重県桑名市議会会派行政視察(4人)
- 3月28日 山口県光市議会会派行政視察(8人)

議長交際費を公表します。

金額単位：円

	1月		2月		3月		合計	
区 分	件数	金 額	件数	金 額	件数	金 額	件数	金 額
弔 慰	0	0	0	0	1	5,000	1	5,000
見舞い	0	0	0	0	0	0	0	0
祝 儀	0	0	2	8,000	0	0	2	8,000
会 費	7	30,500	0	0	1	4,000	8	34,500
接 遇	2	8,000	0	0	0	0	2	8,000
その他	0	1,400	0	0	0	0	0	1,400
合 計	9	39,900	2	8,000	2	9,000	13	56,900

編集後記

この一年はまさに「光陰矢のごとし」の感でした。少しでも市民の皆さんに議会を身近に感じて頂けるように、議会便りの内容の見直しに取り組み、毎回特集を組み、議員活動を紹介してまいりました。今回より表紙と最後のページがカラーとなり、見やすく工夫しました。今後、議会改革に取り組み、ことをお約束し、次期編集委員へ交代をいたします。

最後に橋川議長の突然の死去に謹んで哀悼の意を表します。

【編集委員】委員長 伊東 茂
副委員長 稲富 雅和
委員 徳村 博紀

※この議会だよりは、全て原稿提出者の責任により編集されています。

